

2018年（平成30年）2月期 第3四半期 決算説明資料

古野電気株式会社

開示：2018年1月15日（月）

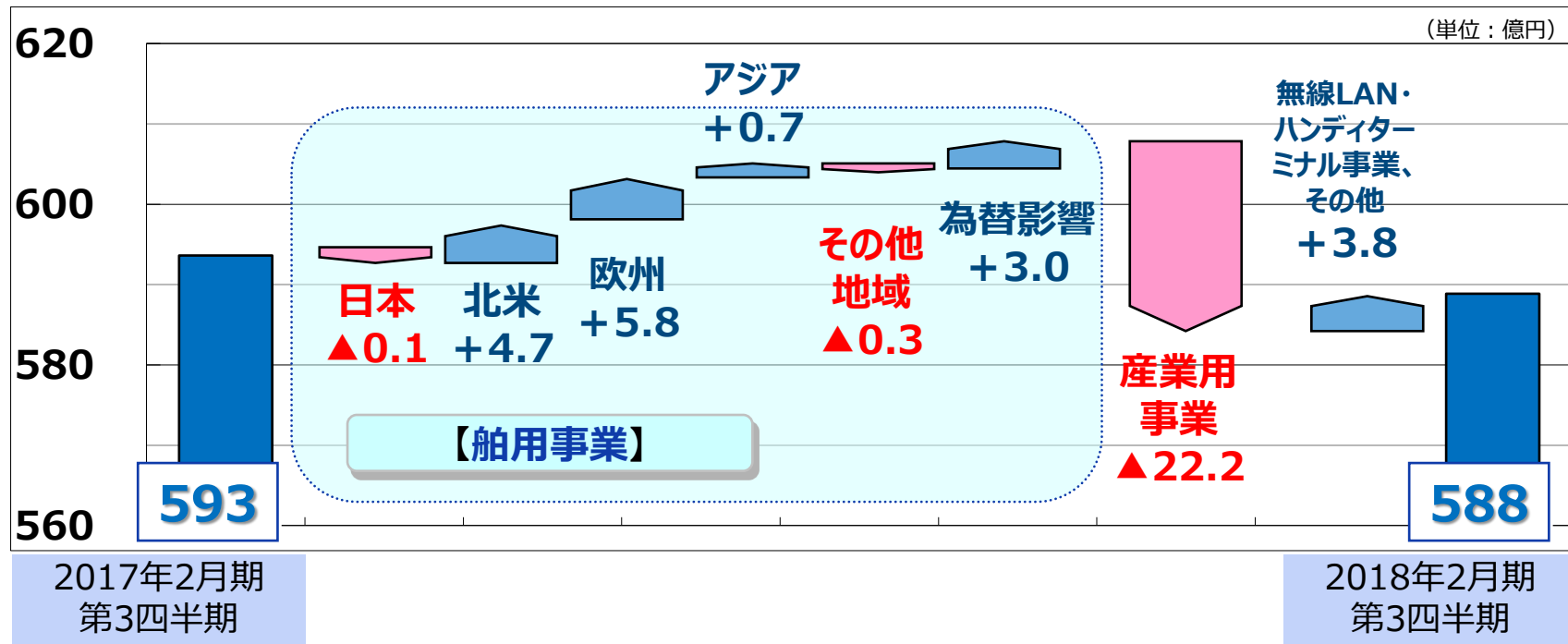


注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

(単位：百万円)	2017年2月期 第3四半期	2018年2月期 第3四半期	増減比（額）	増減比（率）
売上高	59,363	58,887	▲476	▲0.8%
売上総利益 (対売上高比率)	20,961 35.3%	21,408 36.4%	+447 +1.0	+2.1%
営業利益 (対売上高比率)	2,469 4.2%	2,194 3.7%	▲275 ▲0.4	▲11.1%
経常利益 (対売上高比率)	1,993 3.4%	2,017 3.4%	+24 +0.1	+1.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	1,812 3.1%	1,587 2.7%	▲225 ▲0.4	▲12.4%
研究開発費 (対売上高比率)	3,113 5.2%	3,246 5.5%	+133 +0.3	+4.3%
設備投資額 (対売上高比率)	2,787 4.7%	2,218 3.8%	▲569 ▲0.9	▲20.4%
減価償却費 (対売上高比率)	2,102 3.5%	2,381 4.0%	+279 +0.5	+13.3%
(単位：円、期中平均レート)				
為替（対ドル）	112	112	+0	+0.1%
為替（対ユーロ）	122	125	+3	+2.3%



◆ 船用事業 +13.7億円

- 為替影響 +3.0億円
- 北米：漁業市場向けで増収拡大
- 欧州：商船市場向けで大幅増収
- アジア：漁業市場向け好調で増収に転じる

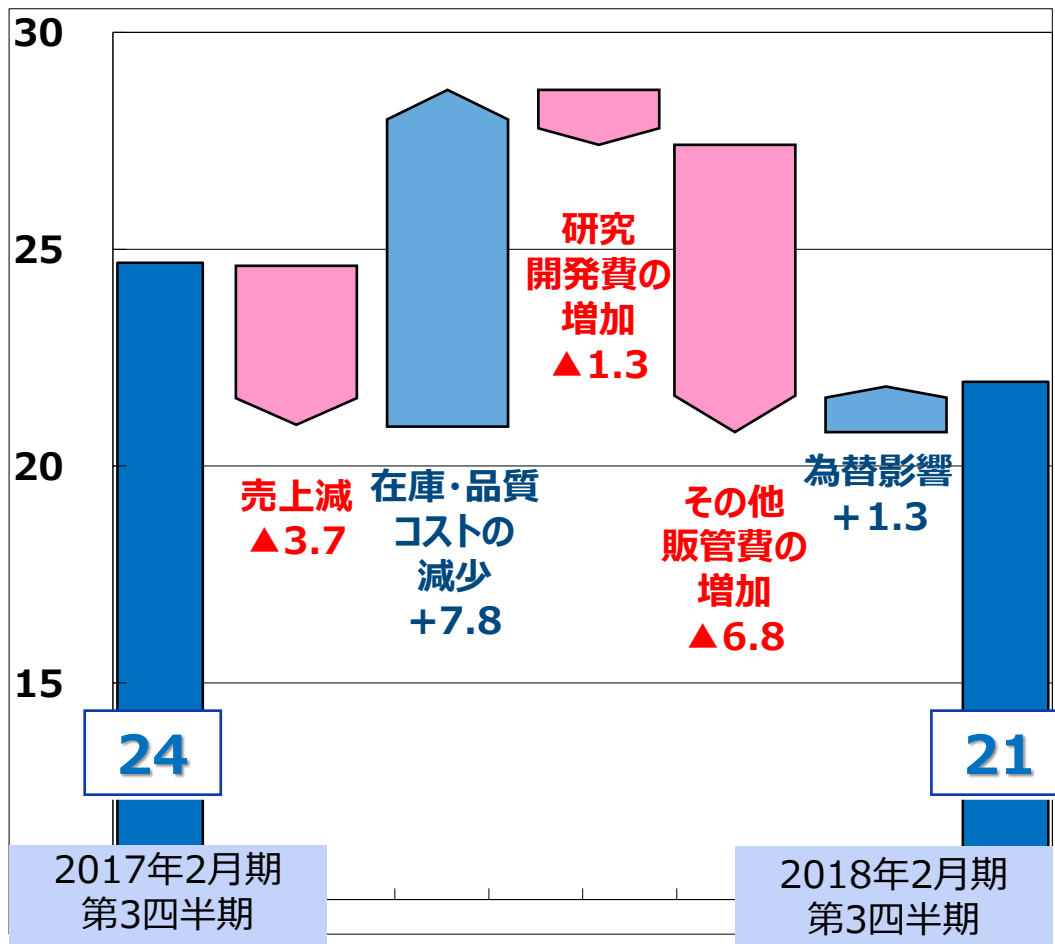
◆ 産業用事業 ▲22.2億円

- ヘルスケア、通信・GNSSの両事業で減収
- ◆ 無線LAN・ハンディターミナル事業 +3.8億円
 - 無線LANアクセスポイントが好調

※ 為替感応度 (2017年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.3億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.3億円、営業利益0.5億円

営業利益の増減分析

(単位：億円)



◆営業利益 ▲2.8億円

【改善】 +9.1億円

【悪化】 ▲11.9億円

◆経常利益 +0.2億円

営業外収益 ▲0.4億円

営業外費用 ▲3.4億円

▶前期：為替差損 7.6億円

▶今期：為替差損 3.9億円

◆四半期純利益 ▲2.2億円

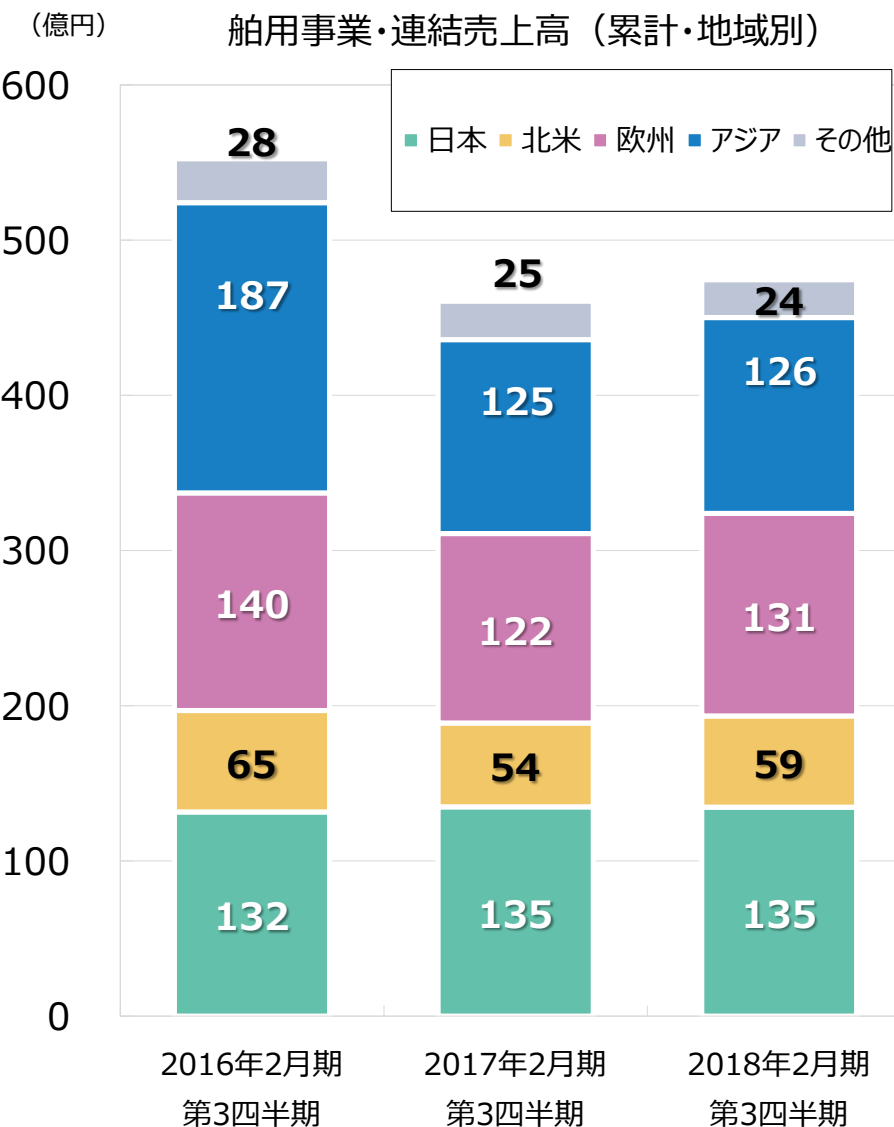
特別利益 +1.3億円

▶今期：投資有証売却益 0.8億円

特別損失 ▲0.3億円

▶前期：減損損失 0.2億円

▶今期：減損損失 0.6億円



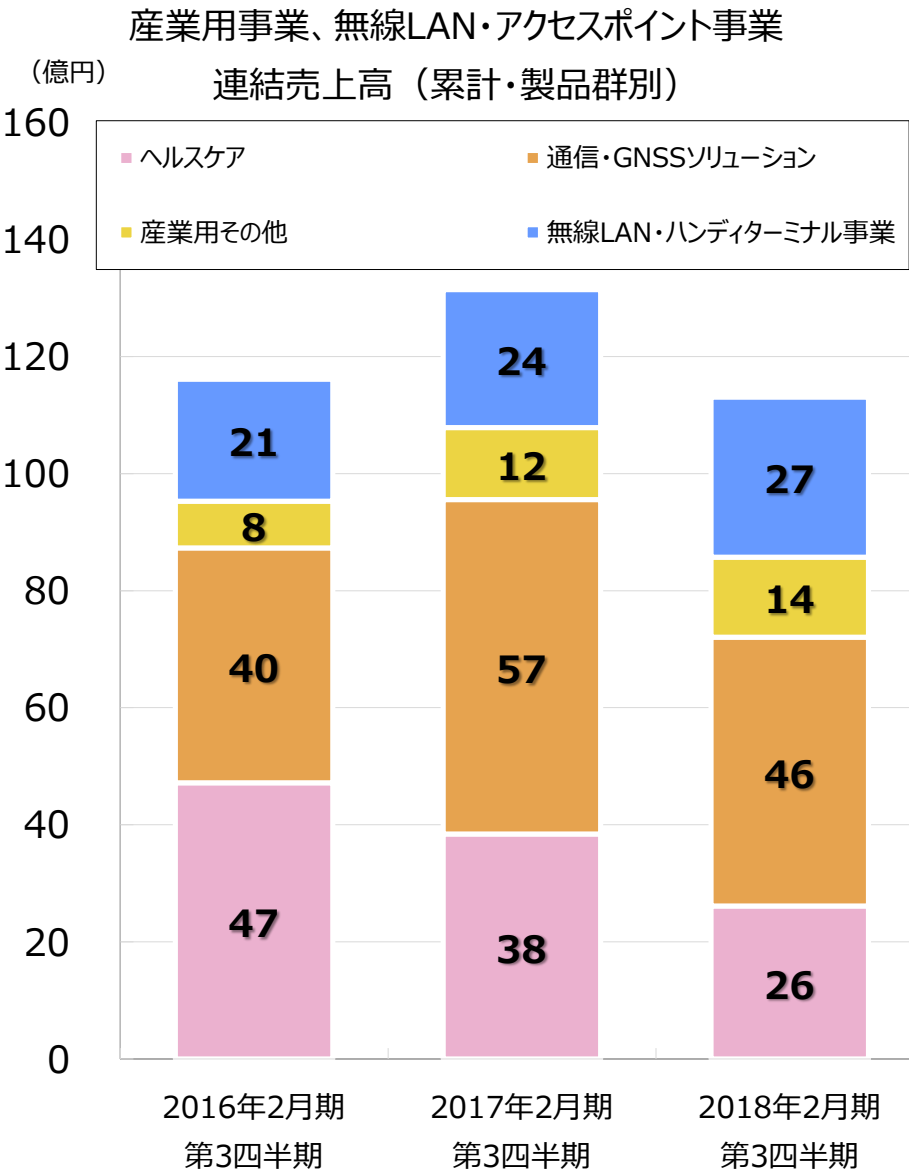
船用事業：増収減益

売上高 474億円 (前年同期比 +3.0%)

セグメント利益 9.9億円 (▲3.1億円)

⇒漁業向けと商船向けで増収

- ◆日本：売上高 135億円 (▲0.1%)
 - 漁業向けは増収継続、商船向け増収に転じる
- ◆北米：売上高 59億円 (+8.7%)
 - 商船向けと漁業向けが増収も、小型商品は依然低迷
- ◆欧州：売上高 131億円 (+6.9%)
 - 商船向けが増収継続、漁業向けと小型商品は減収幅縮小全体として増収に転じる
- ◆アジア：売上高 126億円 (+0.8%)
 - 漁業向けは堅調、商船向けで減収継続



産業用事業：減収減益

売上高 85億円 (前年同期比 ▲20.5%)

セグメント利益 6.0億円 (▲1.1億円)

⇒通信・GNSS、ヘルスケアの2事業で減収拡大

- ◆ヘルスケア事業：売上高26 億円 (▲31.9%)
 - 生化学分析装置は中小型が増収も、大型は大幅減収
- ◆通信・GNSSソリューション事業：
 - 売上高 46億円 (▲19.7%)
 - 周波数発生装置を除き、E T C車載器等が減収

無線LAN・ハンディターミナル事業：増収増益

売上高 27億円 (前年同期比 +16.1%)

セグメント利益 5.4億円 (+3.2億円)

⇒無線LANアクセスポイントが引き続き好調

高航海用レーダーの新製品「型式：FAR-2xx8」シリーズ開発、2018年春から販売開始

◆航海用レーダー「型式：FAR-2xx8シリーズ」を新開発しました。

本商品は、最新のIMO（国際海事機関）性能基準ならびにIEC（国際電気標準会議）の試験規格に合致した国際航行に従事する貨物船等に最適な航海用レーダーであり、高度な信号処理技術を応用した当社独自の安全航海支援機能を搭載していることが特徴です。

本商品の特徴は、下記ウェブサイトをご参照願います。

ウェブサイト⇒ http://www.furuno.com/jp/merchant/radar/FAR-22x8_23x8/



「型式：FAR-2xx8」の表示部と操作部

高精度な自車位置検出ユニットとしてスマートGPS「型式：PT-G1」を新開発

◆商用車テレマティクスや車載IoTで正確な自車位置検出を必要とされるユーザーに向けたユニット端末として、スマートGPS「型式：PT-G1」を新開発しました。具体的には、業務用に活用されるタブレット端末に接続するだけで、カーナビゲーションシステムなどに採用されている高精度なマルチGNSS受信モジュールの位置測位性能を提供できるセンサーユニットです。本商品はこのほど、日本ユニシスが提供する「[クラウド型タクシー配車システム smartaxi®（スマートタクシー）](#)」の位置センサーとして採用されました。

本商品の特徴は、下記ウェブサイトをご参照願います。

ウェブサイト⇒ <http://www.furuno.com/jp/products/gnss-module/PT-G1>

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2017年2月28日現在



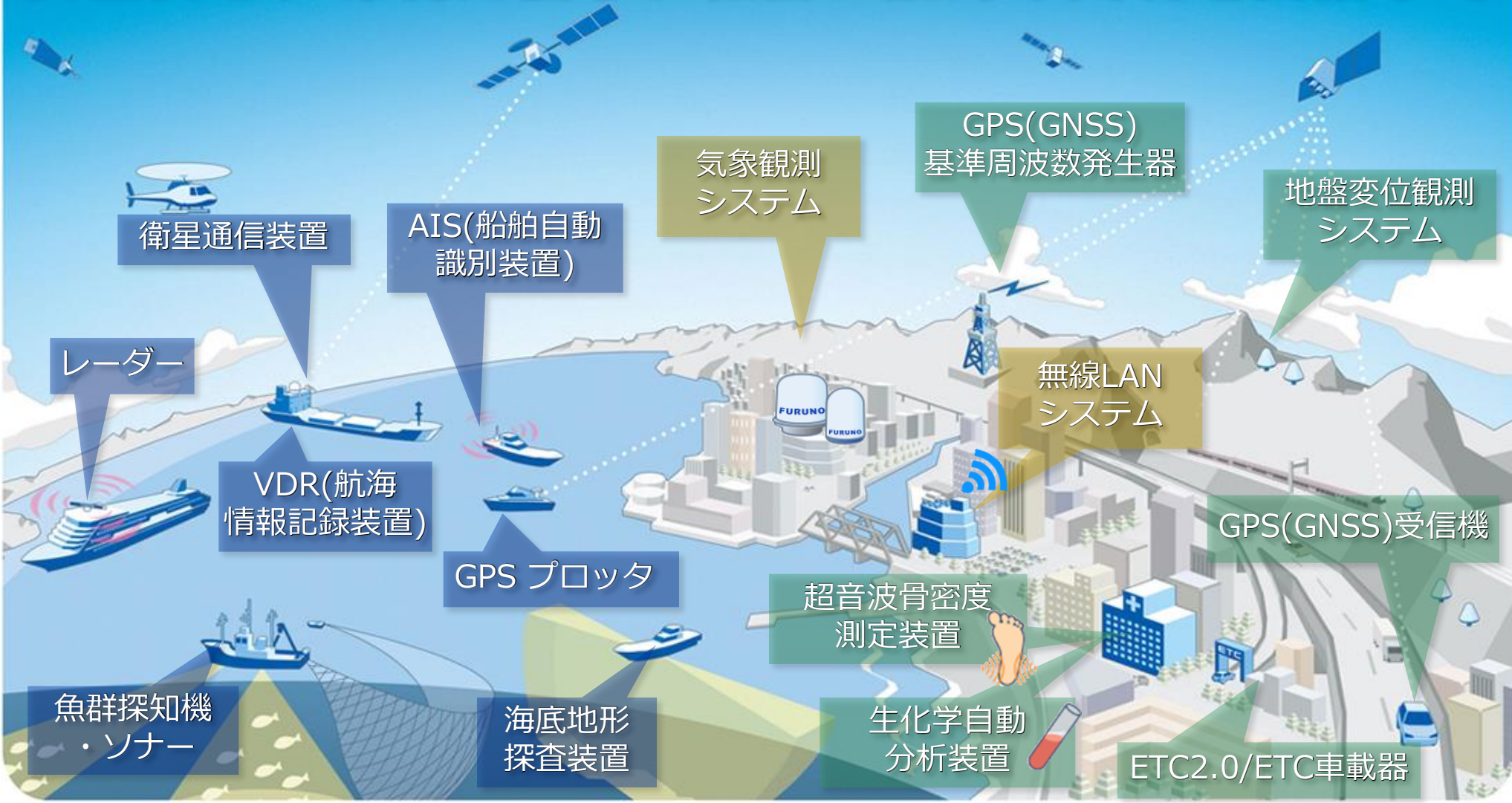
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年（昭和26年）
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 （証券コード：6814）

I R 情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

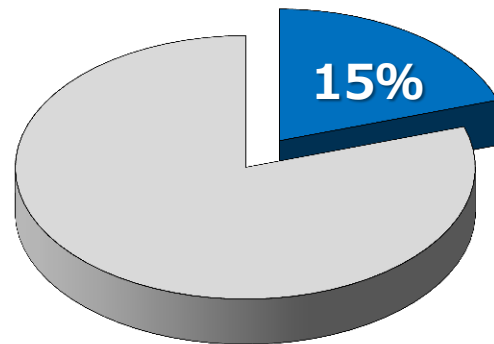
企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して



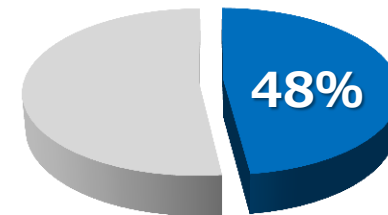
市場規模は、2016年の各社売上データに基づく当社推定による試算値

商船向け



市場規模 1,700億円

漁業向け



市場規模 500億円

総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場 3,900億円のうち、シェア16%占める)